

6	昭54. 5. 16	昭和53年度実地調査「長期人口変動に対する地域住民の意識と環境に関する調査」の結果報告(その3)「定住意識調査」	若林 敬子 技官
7	昭54. 6. 6	国際人口学会1981年マニラ大会組織委員会出席報告 (プログラム原案報告)	河野 稠果 技官
8	昭54. 6. 13	人口の年齢構造と世代	山本 道子 技官
9	昭54. 6. 20	人口推計の方法について	河野 稠果 技官
10	昭54. 6. 27	高齢小規模世帯について	中野 英子 技官 池ノ上正子技官

第31回日本人口学会大会

日本人口学会の第31回大会は、昭和54年5月18日(金)、19日(土)の両日にわたり、福岡県看護等研究研修センター(福岡市中央区)において開催された。日本人口学会大会が福岡県において開催されたのは、久留米市の第20回大会以来2回目のことである。今回の大会は、福岡大学医学部の江崎廣次・重松峻夫両教授を中心とする大会準備委員会の多大のご尽力によって、盛大に行なわれた。会員参加者は100名を超え、本研究所からも多数の関係者が出席した。大会プログラムを掲げると次のとおりである。

第1日(5月18日)

◇一般報告

1. 人口動態率の都道府県別格差の変動について(第3報・出生)……………江崎 廣次(福岡大学)
津村 幸子(〃)
2. 結婚出生力格差についての一考察……………高橋 重郷(人口問題研究所)
3. 国勢調査の既往出生児数データによる地域出生力指標……………渡邊 吉利(人口問題研究所)
4. 最近の出生率の動向についての一考察……………河野 稠果(人口問題研究所)
5. サゴヤシと狩猟に依存する低地ニューギニア人の人口再生産……………大塚柳太郎(東京大学)
6. 南スマトラにおける人口増加と土地利用……………坪内 良博(京都大学)
7. 地域人口から見た老人問題……………篠崎 信男(人口問題研究所)
8. 人口高齢化期におけるわが国世帯構成の変化……………山口 喜一(人口問題研究所)
山本千鶴子(〃)
伊藤 達也(〃)
9. 長期人口変動に対する地域住民の意識と環境に関する調査
(その1)「人口意識調査」……………濱 英彦(人口問題研究所)
10. 同上(その2)「保育環境調査」……………廣嶋 清志(人口問題研究所)
11. 同上(その3)「定住意識調査」……………若林 敬子(人口問題研究所)

◇共通テーマ報告「生命表とその利用に関する研究」(I)

基調報告 生命表の研究—その医学・保健領域における利用……………重松 峻夫(福岡大学)
研究報告

1. 生命表と特定死因に関するKEYFITZの研究の一般化
について……………南条善治(福島県立医科大学)
2. 小集団の生命表……………小林 和正(京都大学)
3. 平均余命に及ぼす環境諸条件の影響について……………山本 幹夫(帝京大学)
寺尾 浩明(〃)
山岡 和枝(〃)
4. 死亡秩序の近代化とその社会的文化的要因について
(1840~1969年における)……………山本 文夫(中村学園大学)

第2日(5月19日)

◇一般報告

12. 出生力の経済学—その方法的意義……………大淵 寛(中央大学)
13. 江戸時代の人口思想……………石原 正令(関東学園大学)
14. 十八世紀フランスの人口事情……………岡田 実(中央大学)
15. 吉田顯三の寿命統計研究—聖運録—について(第2報)……………丸山 博
16. 労働力人口の産業別配分の特性と問題点……………畑井 義隆(明治学院大学)
17. 最適生涯貯蓄と最適人口成長……………高木 尚文(成城大学)
18. 人口移動の転換と政策論的意義……………黒田 俊夫(日本大学)
19. コーホートにおける地域的分布の変化の測定……………鈴木 啓祐(流通経済大学)
20. 中国縦貫道開通に伴う人口の移動について……………飯谷 太一(川崎医科大学)
21. 愛知県日間賀島東里の人口変動……………正木 基文(東京大学)
22. 人口移動と頭脳流出……………岡田 真(駒沢大学)
23. 姓氏の地域集積性および移動……………川上 理一(国立公衆衛生院)

◇会長講演

- 高齢人口の量と質……………曾田 長宗(国立公衆衛生院)

◇追悼講演

- 故岡崎文現元理事の逝去を悼む……………森田 優三(亜細亜大学)

◇共通テーマ報告「生命表とその利用に関する研究」(Ⅱ)

5. 初婚表(初婚の生命表)と結婚数の推計……………青木 尚雄(人口問題研究所)
伊藤 達也(〃)
山本千鶴子(〃)
6. ラテンアメリカの大都市における結婚解消問題への生命表
分析の応用……………尾中アルビンT(放射線影響研究所)
7. 卒業生名簿からの死亡生残表の研究……………丸山 博
8. 慶大医学部卒業生名簿による生命表……………川上 理一(国立公衆衛生院)
9. わが国の将来人口推計—昭和53年安川推計—……………安川 正彬(慶応義塾大学)
10. わが国の将来人口推計—日大推計について—……………黒田 俊夫(日本大学)
大塚 友美(〃)

討 論

- 総 括……………重松 峻夫(福岡大学)
(山口喜一記)

第37回人口問題審議会総会

「人口問題に関する重要事項について、関係各大臣の諮問に応じて調査審議し、及び関係各大臣に対し意見を述べること」(厚生省設置法第29条抜粋)を目的とし、厚生省の附属機関として設置されている標記審議会の第37回総会が、昭和54年7月6日、ホテル竹橋会館で開かれた。

まず新委員の紹介、会長互選のあと、山田会長挨拶、曾根田厚生事務次官挨拶、山口会長代理互選、第1・第2両部会員の指名、両部会長(黒田・山口委員)の互選が進められ、ついで最近の内外の人口情勢に関する報告とそれに対する質疑応答につづいて今後の運営について討論を行なった結果、とりあえず目下低下をつづけている出生力の動向を審議することを当面の課題と定め、審議会令第14条に基き、「出生力の動向に関する特別委員会」を新たに設置し、調査審議をすることになり、8名の委員(青井和夫、岩間一郎、黒